

毎年 必ず受けましょう!

郵送がん検診のご案内



当健康保険組合では、昨年に引き続き自宅で都合のいい時に受診できる、郵送による子宮頸がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・歯周病リスク検診・ピロリ菌検査の5項目に加え、今年度は、肺がん検診を新たに実施します。ご自身とご家族の健康を守るため、この機会にぜひご受診ください。

記

1. 検診対象者 被保険者および被扶養者（年齢は2024年3月末時点）
および自己負担金

検査項目	対象年齢	自己負担金	備考
子宮頸がん検診	20歳以上	1,000円	妊娠中の方は申込みできません 乳がん自己触診チェッカーつき
大腸がん検診	40歳以上	500円	2日分の便を採取
前立腺がん検診		1,000円	血液を採取(注)
肺がん検診		1,000円	3日分の痰を採取
歯周病リスク検診		1,000円	唾液を採取
ピロリ菌検査		1,000円	1日分の便を採取

NEW

(注)血液検査:専用の器具を使い、指先から採取します。
特定の疾患で止血機能が低下している方、特定の疾患の治療中で、薬剤(ヘパリンワーファリン、ウロキナーゼ等)を服用し、止血機能が低下している方は検査の申込みができません。

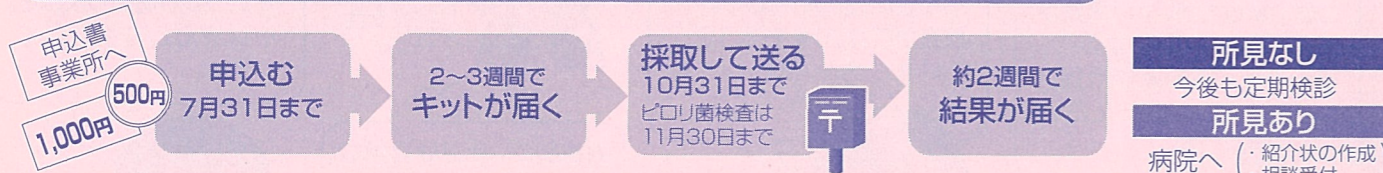


2. 申込方法 下記の申込書に記入し、各事業所担当者まで自己負担金を添えてご提出ください。

3. 検査器具の送付 申込書は事業所にて取りまとめ、健康保険組合経由で検査機関に送付されます。申込書が検査機関に到着後約2週間で、個人宛に検査器具が郵送されます。なお、ピロリ菌検査は検査の精度上7~9月は実施しておりませんので、検体の返送は6月末まで、もしくは10月以降でお願いします。

4. 検査機関 MSP細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号)
TEL(075)231-2230 <http://www.msp-kyoto.co.jp>

お申込みからの流れ



所見なし
今後も定期検診
所見あり
病院へ(紹介状の作成・相談受付)

事業所担当者 行
郵送がん検診申込書

申込締切日 2023年7月31日(月)

保険証記号-番号	-
----------	---

	受診者氏名	住所(検査器具送付先)	電話番号	生年月日・年齢・性別	〇印をつけてください
被保険者	フリガナ	〒	-	西暦 年 月 日 (歳)男・女	子宮・大腸 前立腺・肺 歯周病 ピロリ菌
被扶養者①	フリガナ	〒	-	西暦 年 月 日 (歳)男・女	子宮・大腸 前立腺・肺 歯周病 ピロリ菌
被扶養者②	フリガナ	〒	-	西暦 年 月 日 (歳)男・女	子宮・大腸 前立腺・肺 歯周病 ピロリ菌

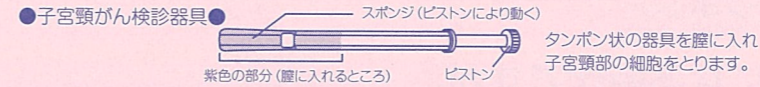
(注)1. 記号一番号とは被保険者証に記載されている記号・番号です。
2. この申込書に書かれた住所、氏名に検査器具が送付されますので「正しくはつきり」ご記入ください。
★個人情報の取扱いについて：受診する方の個人情報は本検診を提供する目的および当健康保険組合の保健事業にのみ利用します。個人情報の取扱いについて同意の上、お申込みください。

子宮頸がん検診 検診を定期的に受ければ予防できます。

20~30歳代増加

- ◆ 子宮頸がんはヒトパピローマウイルスの感染により発生。
- ◆ 女性の8割が一度はかかるありふれたウイルスです。

子宮頸がんになるまでに通常数年から10年以上かかります。定期的な子宮頸がん検診を受けていれば、早期に発見し治療することが可能です。



乳がん自己触診チェッカーつき

毎月1回、自分で触ってチェック!

乳がんは、身体の表面に近い部分に発生するので、自分でも発見可能です。乳がんセルフチェッカーを使って月1回の自己触診の習慣をつけましょう。



乳がん検診補助を利用ください! 上限:3,000円

大腸がん検診 早期発見・早期治療により、ほぼ治癒します!

毎年検診を受けて!

大腸がんは誰にでもかかるリスクがあります。

近年、食生活が欧米化し、特に食物繊維不足等により腸内環境が悪化し、がんが発生するとされています。

最新の予測

がん罹患患者数 第1位

がんでの死亡原因 女性 第1位

男性 第2位

出典:国立がん研究センターがん情報サービス2022年のがん統計予測



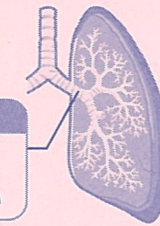
昨年陰性だった人も受けて!

NEW

肺がん検診 がんの死亡原因 第1位!

“PM2.5が気になる方も”

- ◆ 胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
- ◆ 中心型肺がんを早期に発見できます。



肺門部・中心型肺がん
喫煙者に多い...せき、たん、血痰などの症状
※喀痰検査で発見!
肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい

こんな方は受診を!

- ・たばこを吸う、又は、吸っていた
- ・受動喫煙が気になる
- ・大気汚染 (PM2.5など) が気になる



喀痰検査とは:
痰の中に肺がんを疑う細胞がないかを調べる検査です。肺がんだけでなく、アレルギー・喘息などの炎症性変化も発見できます。

※たん: のどの奥の方からせきこんでいただき、その時にのどの奥から出てくるもので検査できます。出にくい方は、検査機関へお問い合わせください。

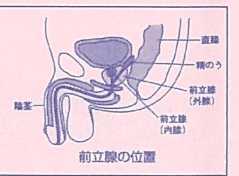
前立腺がん検診 急増しています! 50歳を過ぎれば毎年受けよう!

血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。がんの場合には、その81%を発見できる非常に有効な検査方法です。

- ◆ 前立腺がんはサイレントキラー!! 自覚症状がありません。

排尿障害とは...

- ・尿の勢いが弱い
- ・尿の回数が増えた
- ・残尿感がある など



※次の方は正確な検査結果が出ないことがあります。

- ①前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方②特定薬物(抗男性ホルモン剤など)使用中の方③長年寝たきりになっている方

歯周病リスク検診 歯茎からの出血は要注意です!

歯磨きしている時や何もしていない時でも歯茎から血が出ることはありませんか? 歯周病菌は血液中のたんぱく質と鉄分が大好きです。歯茎等が出血すると歯周病菌は爆発的に増殖します!

出血!出血!
大好物のヘミン鉄だ!



- ◆ 唾液中の血液反応を測定し歯周病の進行度合いを判定する検査です。(ガムをかんで唾液をとるだけ)

ピロリ菌検査 ピロリ菌除菌でがん予防!

- ◆ 「ピロリ菌」感染が胃がんを引き起こします。

ピロリ菌感染の有無を調べます。結果が陽性の方は、除菌治療をして胃がんを予防してください。

除菌は早いほうが効果的!

こんな方は受診を!

- ・胃の調子が悪い
- ・家族に胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる



受診後も安心!!

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

検査機関では、受診者の方に合った病院をご紹介します。お気軽に検査機関にお問い合わせください。

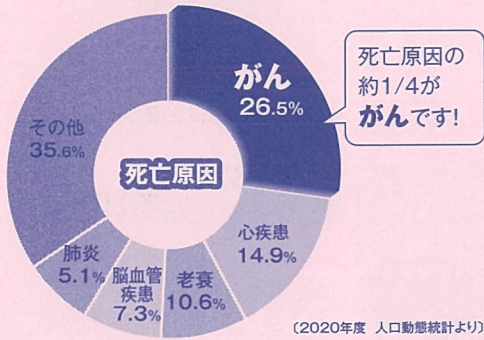
毎年必ず受けましょう!がん検診!

がんは予防できる時代です。

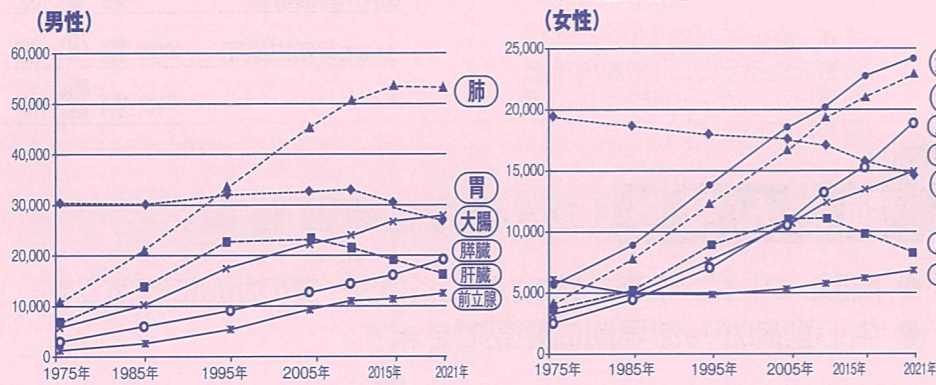
誰でもがんになる可能性があります

一生の間に2人に1人ががんになる時代ですが、早期発見で適切な治療をすれば、健康な日々を過ごすことができます。

【主な疾病の死亡原因に占める割合】



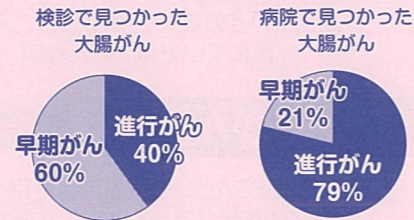
【主ながん部位別死亡者推移】



自覚症状がなくても、まず検診

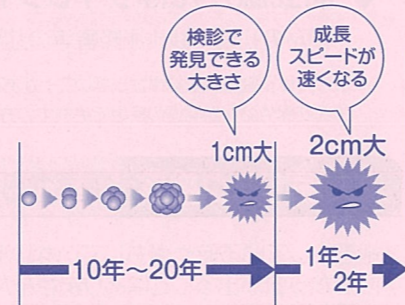
早期のがんに自覚症状はありません！
がんを早期に見つけ、治療するためには、自覚症状がない時にこそ定期的に検診を受けることが大切です。

自覚症状を感じて病院で発見されたがんは79%が進行がんです。



毎年検診を受けることが重要

がんの大きさが1~2cmくらいまでを「早期がん」といい、この段階で治療を受ければ完治も可能です。
検診で発見できるこの1~2cmの大きさになるには、10~20年かかりますが、1cmのがんが2cmの大きさになるのにはたった1~2年しかかかりません。だから、毎年がん検診を受けることが重要なのです。



結果が陽性の時は、速やかに精密検査を受けましょう

検診は「自覚症状のない人」から「がんかもしれない人」を見つけるスクリーニング検査です。がん以外の何らかの疾患が隠れていることもあります。自覚症状がないから大丈夫!と思わず、すぐに精密検査を受けましょう。

毎年必ず大腸がん検診を受けましょう!

大腸がんは

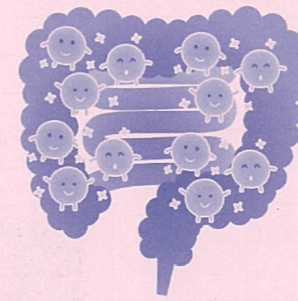
かかる人
年間155,625人
第1位

亡くなる人
年間52,418人
第2位

人口動態統計
罹患:2019年 死亡:2021年

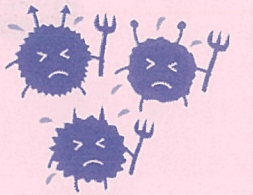
毎年検診を受診する人は、大腸がんによる死亡率が約70%低下すると厚生労働省が発表しています。

腸内環境を整えて免疫力UP!



腸は栄養素を吸収する役割の他に、自律神経や免疫細胞が集まり細菌やウイルスなどの有害なものを排除する機能を担っている重要な器官です。腸内環境を整えることで免疫機能を高めることができると言われています。

腸内環境をよくすることは、消化・吸収・排泄の正常化、免疫力の向上、腸内細菌の毒素産生を低下させ、メタボの改善、ストレス耐性を高めます。さらに、がん・アレルギー・過敏性腸症候群・便秘のリスクを低下させることにもつながります。



大腸がん検診受診者様の声より

60代男性

今回初めて陽性の結果で早期のがんが見つかりました。自覚症状もなく、まさか私が、と思いましたが、早期発見ができて感謝しています。検査の大切さを家族や周りの人に伝えたいです。

50代女性

出血は“痔”のせいだと思い放置していましたが、再度の受診勧奨で受診。ポリープが見つかり、このままにしていたら“がん”になっていたかも、と言われました。検査がこわい、私もそう思っていました。受診してよかったです。

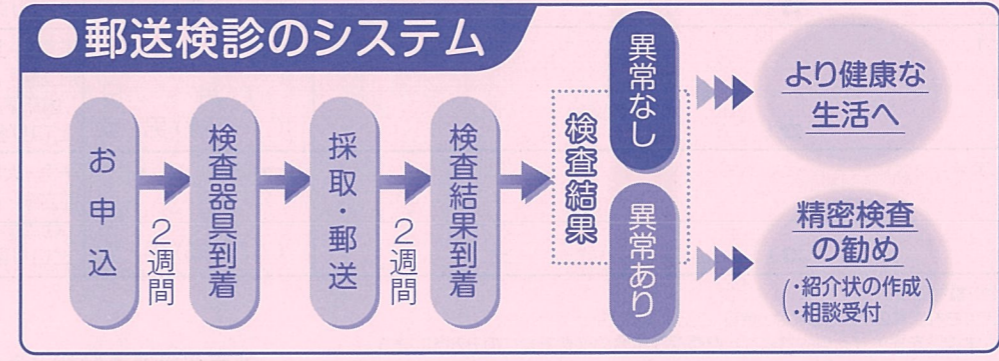
40代女性

検査が不安でなかなかふみきれませんでした。子供も生まれたところだったので思いきって受診。その結果、小さなポリープが見つかり切除しました。今は安心して生活しています。

30代男性

内視鏡で、今回は異常なしでしたが、健康に関心を持つ良いきっかけになりました。年に一度の便潜血検査は必ず受けようと思います。

【注意事項】
 ・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
 ・郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
 ・郵送検診の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。



令和3年度
京都府医師会 協力施設
臨床検査精度管理調査

メスス細胞検査研究所
京都府登録衛生検査所第38号

〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下る瓦町550 メスビル内

TEL.075(231)2230
FAX.075(211)7400
http://www.msp-kyoto.co.jp
E-mail:mail@msp-kyoto.co.jp